

脳脊髄液減少症を知っていますか？

「脳脊髄液減少症」は、むちうち・転倒・しりもち・だぼく など 日常生活において
誰にでも起こりうる疾患です。

交通事故によるむちうちやスポーツ外傷や転倒などの後（数日から数ヶ月後に発症）

頭痛やめまいや倦怠感など不定愁訴といわれる症状が長びいている方はいらっしゃいませんか？

早期発見！早期治療を！

頭や背骨に強い衝撃や圧力が加わる

- 脳と神経を満たしている脳脊髄液の袋(硬膜)が破裂する
- 脳脊髄液が漏れ出す
 - 脳脊髄液が減ってくる
 - 脳や神経がひっぱられたり圧迫されたりして 神経活動がうまくできなくなる
 - 多彩な神経症状



頭痛 背部痛 めまい 耳鳴り

ひどい倦怠感 集中力低下 見えにくい 聞き取りにくい
目の奥が痛い 光がまぶしい 音が頭に響く 頻尿
のどや顔面の違和感 ものが二重に見える 手足がふるえる
体温・血圧・脈拍が一定しない 熟睡できない しびれ など

- 専門医による検査・・・R I システルノ検査、MR I 検査など

島根県内の病院は、県庁HPに情報公開されています。
公開されていない病院情報もあります。

- 現在一番有効なブラッドパッチ治療（「脳脊髄液漏出症」「低髄液圧症」

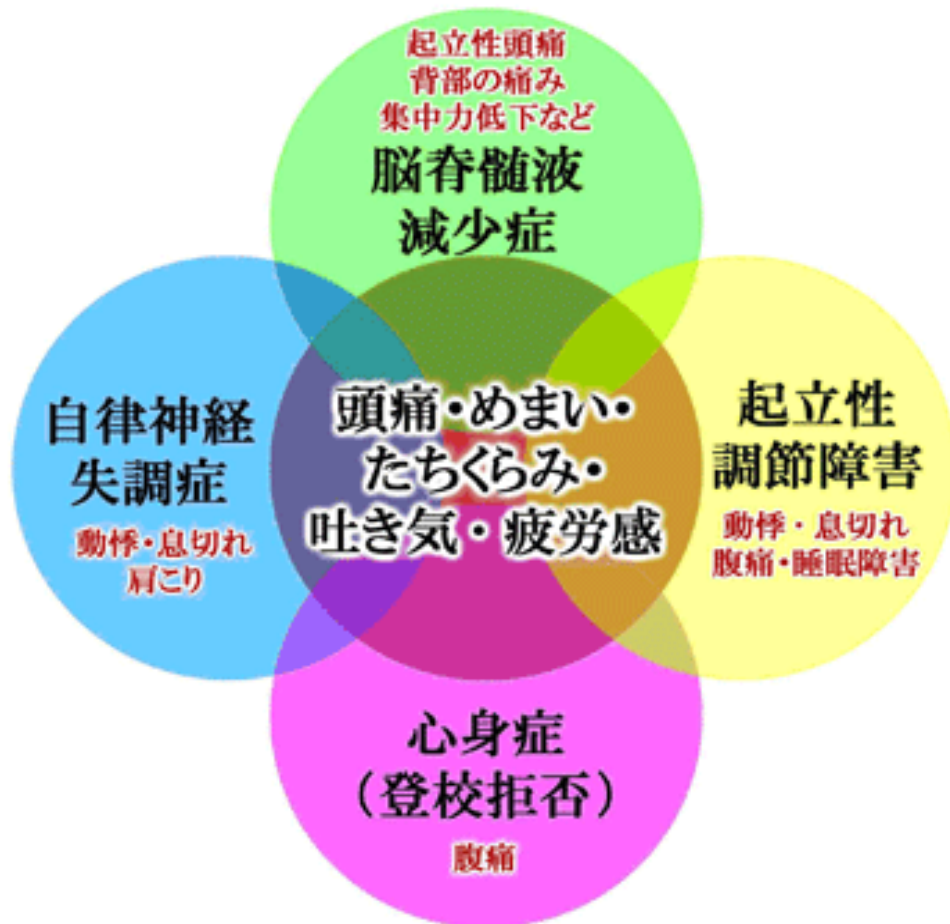
確定診断の場合 2016年度4月より保険適用）

- ・・・髄液が漏れ出している部位に、自分の血液を注入し塞ぎます。患部に圧力をかけないように安静を保ち、硬膜が再生してくれるのを待ちます。

- 漏れが止まれば
- 髄液が満ちてきます
- 脳や神経が修復を始めます

■■■■■ 周囲から誤解されやすい病名は？ ■■■■■

共通の症状があるために、よく医師やカウンセラーから起立調節障害、自律神経失調症、偏頭痛、緊張型頭痛、心因的なものと診断されることがあります。また、学校では不登校と思われがちです。病気に対する正しい知識と適切なケアが急務です。



資料：脳脊髄液減少症患者支援の会 子ども支援チーム